

矢作川流域圏懇談会 第5回公開講座

流域の視点から見た 治水・環境と総合水管理

～市民とともに創る豊かで持続可能な社会～

2024年12月17日(火)
14:00～17:15

「G7 2030年自然協約」において「2030年までに生物多様性の損失を止めて反転させる」という世界的な使命(ネイチャーポジティブ)が表明されました。

また、令和6年8月30日に閣議決定された「流域総合水管理」は、今まで取り組んできた流域治水に加えて水利用や環境についてもあらゆる関係者の協働が必要とされています。これからの日本は都心部も含め、様々な地域で人口減少が加速していきます。「人口減少時代」を強く認識した時、従来の価値観・技術論とは異なる新しいポリシーを構築する必要があります。市民と自然が共生する社会を構築し、

新たに提言された「流域治水から流域総合水管理への転換」について、

私たちの流域ではどうするのかをみんなで考えてみませんか？

会場

名古屋大学 減災館 減災ホール
名古屋市千種区不老町 名古屋大学減災館

定員

会場 80名
Zoomによるオンライン配信あり

お申込方法

①QR②Web③メールのいずれかで申し込んでください。
複数人での申込も可能です

②<https://forms.gle/bWpsRQRgUGwVgYuv8>

③メールの本文に①～⑥を記載してください。

①氏名 ②所属 ③役職 ④メールアドレス

⑤参加形態(現地 or オンライン) ⑥懇親会の参加有無

申込期限

12月13日(金)

主催：矢作川流域圏懇談会(事務局：豊橋河川事務所)

お問合せ先：中央コンサルタンツ株式会社 TEL：052-971-2541 担当：大嶋、成瀬

MAIL：r6_yahagi_jimukyuhosa@chuoh-c.co.jp



①参加申込
QRコード



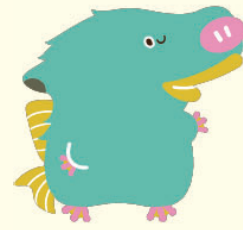
CPDプログラム
認定予定!

プログラム案内

- 14:00～14:05 開会挨拶
14:05～14:15 第1部 趣旨説明
14:15～14:25 第2部 流域治水から流域総合水管理へ
(講師：蔵治光一郎氏)
14:25～15:10 第3部 3名による話題提供
15:10～15:20 質疑応答
15:20～15:30 休憩
15:30～16:30 第4部 3名による鼎談
16:30～17:10 第5部 会場も含めた意見交換
17:10～17:15 閉会挨拶

矢作川流域のゆるキャラ

はぎぼう



カエルの手とアユの口、ヒレをもつイノシシの子（うりぼう）。矢作川流域に住む陸生、両生、水生の生き物を組み合わせ、流域の自然の豊かさを表しています。ふだんはぼーっとしているけど、矢作川のこととなると鼻息をフンフンさせながら熱く語る矢作川オタクです。



くらじ こういちろう

蔵治 光一郎 氏（東京大学 教授）

1965年東京都生まれ。東京大学大学院修了。専門は森林水文学・森林流域管理学。著書に『森の「恵み」は幻想か 科学者が考える森と人の関係』（2012）、編著書に『長良川のアユと河口堰 川と人の関係を結びなおす』（2024）等がある。



かやば ゆういち

萱場 祐一 氏（名古屋工業大学 教授）

1965年宮城県生まれ。東京工業大学卒業・修了、工博（名古屋大学）。専門は河道地形、河川の一次生産から、大河川、中小河川における川づくり、河川環境管理まで幅広い。著書に『河道内氾濫原の保全と再生』（2019、編著）、『河川災害と復興』（2024、編著）等がある。



もり てるたか

森 照貴 氏（土木研究所 自然共生研究センター長）

1981年愛知県生まれ。名古屋大学卒業、北海道大学大学院修了。博士（環境科学）。専門は群集生態学・河川生態学。著書に『河川生態学（2013、共著）』、『河川生態系の調査・分析方法（2019、共著）』等がある。

矢作川流域圏懇談会とは？

矢作川流域圏懇談会は山部会・川部会・海部会・市民部会で構成され、河川管理者だけでは解決できない課題に対して、流域一体となって取り組み、互いに連携し、いい川づくりと調和のとれた流域全体の発展につながるための組織です。"流域は一つ、運命共同体"という共通認識のもと、治水、利水、環境、総合土砂管理、維持管理などの課題に対し、民・学・官の連携・協働で取り組んでいます。



矢作川流域圏懇談会HP

過去の公開講座の紹介

第1回

プラスチックが
生き物を苦しめている

1



第2回

アカトンボが危ない！
いま、水の中で何が起きているのか？

2



第3回

豊かな海の栄養源
～きれいな海は豊かな海か？～

3



第4回

川がつなぐ 私たちの未来
～知らなかった山・川・里・海のつながり～

4

